

令和6年度大船渡市防災訓練の結果について

1 日時

令和6年11月17日（日）午前7時30分から午前9時まで

2 訓練参加者

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 総参加者数 | 5,590 人 |
| ・一般参加者及び自主防災組織 | 4,864 人 |
| ・訓練参加機関 | 726 人（38 機関） |

※11月17日（日）午前11時現在

3 総括

本日は、雨が降る中での訓練となりましたが、自主防災組織や防災関係機関などから多くの参加をいただき、感謝申し上げます。

本年度は、東日本大震災クラスの地震及び津波を想定した避難訓練のほか、国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所所有の港湾業務艇の活用による孤立地域の発生を想定した物資輸送訓練を初めて実施し、支援要請の流れや大船渡湾における使用可能な岸壁の確認を行いました。

市災害対策本部においては、災害対策本部員会議の運営訓練や災害時における関係機関への支援要請等の連絡訓練、チャットツールを活用した通信訓練を行うとともに、防災行政無線や移動系無線機器の操作手順の確認や習熟のための通信訓練等を行いました。

避難所となる各地区本部では、避難者の受付の流れや部屋割りの確認、備蓄している食料や資機材の確認を行うなど、災害時において円滑な地区本部及び避難所の開設・運営がなされるよう訓練を行いました。

市内の各自主防災組織においては、津波ハザードマップを活用した避難経路や避難場所の確認のほか、災害時における組織内の役割や地域の避難行動要支援者の確認、資機材の確認、応急担架の作成など、地域の実情に応じた独自企画の訓練が行われました。

大規模災害時には、自主防災組織など地域の協力が大変重要であります。今回の訓練で得られた成果や反省点を検証し、市災害対策本部や防災関係機関等の連携強化はもとより、地域住民の防災意識の高揚や自主防災組織の活動充実に向けた取組を行うなど、官民一体となった防災体制を構築できるよう努めてまいります。